

# 2024年度 フードバンク八王子活動報告

## —皆さまのご協力に感謝申し上げます—



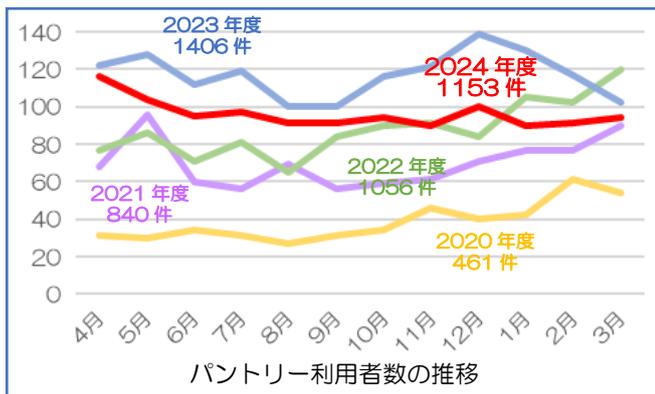
フードバンク八王子は、「八王子に食のセーフティーネットを！」をスローガンに、誰もが食に不安なく過ごせるまちを目指して活動しています。

2024年度、お米の不足や価格の上昇が大きな印象として残っています。物価高騰の波は留まることなく、私たち庶民の生活を直撃しています。パントリー利用者の平均年齢が若干低くなっており、現役世代の利用が8割になっていることから現役世代への打撃が多いことが読み取れます。

「食で結ぶ孤独・孤立対策プラットフォーム」、「はちおうじっ子の新学期応援プロジェクト」を2023年度に引き続き取り組みました。そして、パントリーで一人ひとりの利用者に寄り添うこと、こども食堂の支援を通して、こどもたちの居場所づくりを応援することなどを念頭に活動をしてまいりました。

皆さまのご支援とご協力に感謝申し上げます、活動のご報告をさせていただきます。

### パントリー



フードバンク八王子では毎月2回のパントリー（食料配布）を行い、何らかの理由で食に困っている方に食品を提供しています。2024年度は1153件の利用がありました。コロナ禍以来利用者は増えてきましたが、2024年度は減少しました。これは2023年度は生活保護受給者の利用が2割近くあったためです。フードバンク八王子では生保を対象外としておりますのでお断りしたために減となりました。他団体の協力を得て、市内4か所でもパントリーを実施していますが、その数を合わせると1516件になりました。

初めてパントリーに来られた方は168件、その内、八王子市生活自立支援課を通しての利用が84件、ホームページなどを見て直接来られた方が73件、その他の施設等からの紹介が11件でした。平均年齢は53歳、男女比は6：4、1人当たりの平均利用回数は4回です。

このパントリー活動は、生活自立支援課と連携をしながら、利用される方の自立のお手伝いをしています。「今回で卒業します。これからは自分で何とか頑張ってみます。今までありがとうございました。」と言って卒業された方も何人かいらっしゃいます。

### 食で結ぶ孤独・孤立対策プラットフォーム

内閣府の「地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査」2年目は、行政を含めた市内の福祉団体、病院、こども食堂など18団体が参加するプラットフォーム作りに取り組みました。毎月1回、定例会を開き、各団体の事例を紹介しあい、様々な年齢、環境に孤独・孤立が存在していることを改めて実感する場となりました。2月2日には「つながりをつくるシンポジウム」を開催し、学生、女性、貧困等様々な立場の孤独・孤立について事例を紹介しました。参加者の皆さんからは「つながりの大切さを改めて感じた」「何か協力したい」等のいろいろな感想をいただき、関心の高さを感じました。

毎週火曜日の夜に実施している「フードカフェ」も活動が定着し、いろいろな方が気ままに参加し、ゆるやかなつながりを生む場となっています。

### こども食堂への食品提供

2025年3月には50か所以上になった八王子のこども食堂、ボランティア団体だけでなく、福祉団体、飲食店、町会、企業など、様々な主体のこども食堂が生まれています。

「むすびえ・こども食堂基金2024年度春募集」の助成をいただき、こども食堂同士の交流を目的に、井戸端会議やメニュー研究会を実施しました。初めて実施したメニュー研究会では、食の安全について講義、試食会、巻き寿司作りの講習を行いました。食についての知識を得る場であるとともに、交流の場ともなり、和気あいあいと笑いの絶えない会となりました。

5月31日には「こども食堂エピソード大会」の実施を予定しています。こども食堂から生まれた様々なエピソードを皆さんに知っていただく機会になるよう準備をしております。ぜひご参加ください！



## はちおうじっ子の新学期応援プロジェクト

100世帯、161人（15歳以下のみ）のこどもたちに食品をお送りすることができました。「お米が高くて買えない」「自分が食べるのを我慢している」など、子どもたちに十分に食べさせたいけれども苦しいというコメントが多く寄せられました。

企業、団体、市民の皆さまからたくさんの応援をいただき、こどもたちを応援するあたたかいお気持ちと一緒にお届けしました。たくさんの人と繋がっていること、応援してくれている人がたくさんいることをこども達に伝えたい、そして「一人じゃない、目には見えないけれど応援してくれている人がいる」そう思いながら育ててほしいと願っています。そしていつも忙しい保護者の皆さんには、ちょっとだけホッとした気持ちを提供することで、こどもたちとゆっくり向き合う時間を持ってほしいと願って、このプロジェクトをしています。



## 様々なご支援に支えられて

コロナ禍以来、とても多くの方々がこども食堂やフードバンクに関心を寄せてくださり、たくさんのご支援をいただき、私達の活動を支えてくださっています。2024年度は延532件のご寄付をいただきました。しかし、寄付が減っていることも事実で、毎年50件くらいの減になっています。利用者が一番喜んでくれるお米をなかなか配布できない状況が続いています。

## 2024年度支援してくださった企業・団体等一覧

※ あいうえお順 敬称略

Amazon「みんなで応援」プログラム	住友生命保険	八王子一坪パンまつり
	西友建設	八王子法人会
アローレ八王子	セカンドハーベスト・ジャパン	パークフィーネ南大沢管理組合
IKEA 立川	全労済システムズ	パルシステム東京
いなげや	多摩養育園	パルブレッド
エイト	東京純心大学	ピース
オイシックス WeSupport Family	東京都農林水産振興財団 東京 農業アカデミー八王子研修農場	ひいらぎキャンドル
		フードバンク八王子えがお
岡三証券	東京八王子東ロータリークラブ	ファミリーマート
オッティ貿易	東鉄工業	本田技研工業
かんぼ生命保険	長房町会	末日聖徒イエス・キリスト教会
くらしフェスタ東京 2024 地域 企画八王子会場	日本非常食推進機構	明治大学附属八王子中学・高等学校
	ノースブックセンター	元横山町第二町会
コスモ計器	ハウスクリニック	森のライフスタイル研究所
サヴァンシア フロマーシュ & デ イリージャポン	八王子オーパ	ヤクルト本社
	八王子市仏教会	吉野家
旬菜デリ	八王子市防災課	RISE
JR 東日本八王子支社	八王子市ごみ減量対策課	立教女学院中学校・高等学校
スタンデックス エレクトロニク ス ジャパン	八王子市消費生活センター	Lepin 喜代志
	八王子市生活自立支援課	市民の皆さま

この他にもたいへん多くの市民の皆さま、企業、団体、行政などの皆さまに、様々なご支援をいただきました。皆さまのご支援に感謝申し上げます。

## 2025年度の活動

パントリーのお米をはじめとした食品の確保は課題となっています。寄付者の開拓、フードロスへの周知などにもより一層力を入れてまいります。今年度も「地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査」に継続して取り組んでいきたいと準備中です。これまでの福祉系の団体だけでなく、企業や大学へも呼びかけ、孤独・孤立を生まない地域作りにアプローチしていきたいと考えております。こどもの時から人や地域とつながる場としてのこども食堂も、大切な地域のインフラとなるべく今後も応援してまいります。

ぜひ皆さまのご支援、ご協力を、引き続き賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2025年5月吉日

一般社団法人フードバンク八王子

住所：〒192-0085 八王子市中町 2-9 ランメンビル 3F

☎：042-649-1769

✉：info@foodbank8.tokyo

